

「ツイートはもう終わり」

～情報の氾濫と個人の価値観についての考察～



- 像: 不安そうな女性、時計、重ねられた文字、そして輝く点々。
- ティム: ある人にとって非常に重要に思えることが、別の人には全く重要でないように思えるのは興味深いですね。
- ミン: (うなずきながら)またホセ: (うなずきながら)またある時期その人にとって重要だったことが、別の時期には余計なものに思えることもありますね。
- 玲亜: (少し考えて) これにより、絶対的な価値観が本当に存在するののかという疑問が浮かび上がりますね。
- ティン: ほとんどの宗教はそう主張していますが、私は確信が持てません。
- 玲亜: 実際、ジャック・J・パウアーがこのことについて興味深いことを言っていました。最初、多くの方は他人を気遣うことに表面的にしかコミットしていません。しかし、特定の行動を続けるためにもっと時間を投資するうちに、その行動が次第に彼らにとって「現実的」なものになっていきます。つまり、私たちのコミットメントの感覚は成長とともに進化するのです。

- T Newfields (和訳.: molly12)

1997年 静岡市 2024年 静岡市

